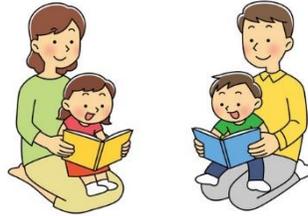


6年生オススメ図書

お子さまとゆっくりした夏休みに

読書で楽しいひとときを過ごしてみませんか？



もしも日本人がみんな米つぶだったら
山口タオ 文

数えたいものを米つぶに置き換えればその多さや大きさがひと目でわかる、目からウロコのお米の国の秘伝「米つぶ換算術」！一合、一升は聞き覚えはあるが、茶碗一杯にいくらお米が入っているかな？



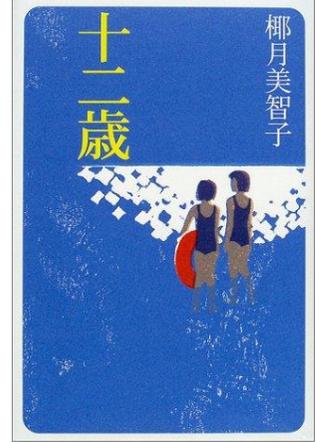
きまぐれロボット
星新一 作

お金持ちのエヌ氏は、博士が自慢するロボットを買い入れた。オールマイティだが、時々あばれたり逃げたりする。ひどいロボットを買わされたと怒ったエヌ氏は、博士に文句を言ったが……。



トムは真夜中の庭で
フリバ＝ピアス 作
高杉一郎 訳

ある日の夜、ホールの大時計が奇妙にも「13時」を告げたのをきっかけに、彼は存在しないはずの不思議な庭園を発見する。



十二歳
椰月美智子 作

十二歳。小学校六年生のありふれた女子が一人称で語る日常の話。大人の途中の子ども。悲しく切なくやりきれないような痛みだって知っている。十二歳をとおりすぎるすべての人たちへおくる物語。



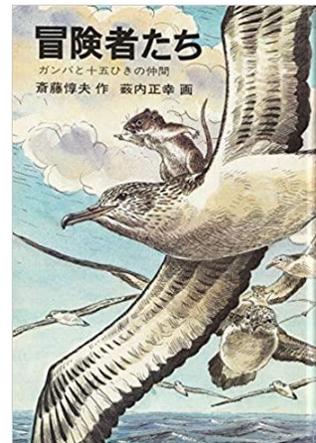
星明かり
熊谷千世子 作

主人公の上杉昂「すばる」は、小学六年生の女の子。けれども、名字の上杉も名前の昂も精悍で勇ましい感じがするために、よく男の子に間違われてしまう。



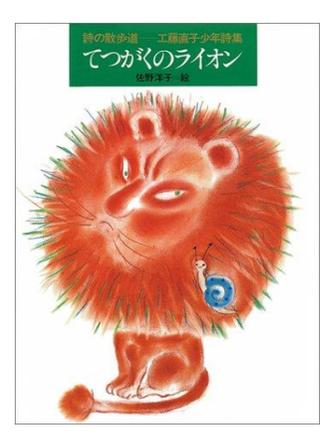
ぼくらの先生！
はやみねかおる 作

定年退職して10年、長年の学校勤めの習慣が抜けないのは、誠実に子どもたちと向き合い、教育に情熱をかけてきた証。生徒との日々の中にあった小さな謎を奥さんに語る物語。



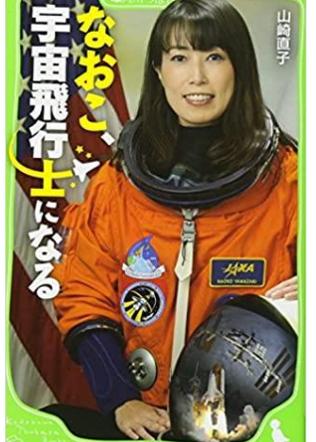
冒険者たち
斉藤惇夫 作

町ネズミのガンバは、友だちマンブクの誘いで港ネズミのパーティに行く。そこで、ほど近い島のネズミ忠太が自分たちの仲間がイタチに襲われ、絶滅の危機にあるという窮状を訴えに来たのに出会う。



てつがくのライオン
工藤直子 作

ライオンは「てつがく」が気に入っている。かたつむりが、ライオンというのは獣の王で哲学的な様子をしているものだと教えてくれたからだ。今日ライオンは「てつがくてき」になろうと思った。



なおこ、宇宙飛行士になる
山崎直子 作

スペースシャトル・チャレンジャー号の事故を見て、少女は「宇宙飛行士」になろうと決めた。15歳の時だった。犠牲となった宇宙飛行士たちの夢が自分の夢になり、そしてついに、直子は宇宙へ飛んだ！



アフガニスタンの少女マジャミン
長倉洋海 作

お父さんがつけてくれた名前の意味は「笑顔」。そんなマジャミンの夢は…。「人びとが助けあって生きる」ことへの共感と、未来への希望を見つけ出せる写真集。